

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道人形峠線改良事業	鏡野町	27,108,000	20,000,000	総事業費 694,134,663
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	恩原高原スキー場圧雪車整備事業	鏡野町	39,420,000	37,000,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業	鏡野町	36,050,400	34,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	かがみの園空調設備改修事業	鏡野町	28,890,000	28,000,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	総合グラウンド整備事業	鏡野町	158,760,000	158,000,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化スポーツセンター施設改修事業	鏡野町	19,897,650	18,000,000	
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	富簡易水道統合事業	鏡野町	264,183,120	110,000,000	
8	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業	鏡野町	119,825,493	100,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称								
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道人形峠線改良事業								
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町								
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内								
交付金事業の概要	<p>町道人形峠線は、路面の凸凹などのひび割れ・くぼみ等が多く点在し、町道を通行する車両等に支障をきたすだけではなく、冬期は除雪の妨げにもなり、水たまりなどが凍結して通行車両等の安全が確保されていないことから舗装修繕を行ないます。</p> <p>【舗装補修工事(町道人形峠線)】</p> <table border="0"> <tr> <td>L661.0m W=6.4~9.0m</td> <td>路面切削工 A=4,778.0㎡</td> <td>アスファルト舗装工 A=4,778.0㎡</td> <td>区画線工 L=1,352.4m</td> <td>○鏡野町の人口(4/1現在) 平成26年度 13,856人 平成27年度 13,744人 平成28年度 13,538人</td> <td>○岡山県立森林公園の利用者数 平成26年度 43,555人 平成27年度 44,861人 平成28年度 44,810人</td> </tr> </table>				L661.0m W=6.4~9.0m	路面切削工 A=4,778.0㎡	アスファルト舗装工 A=4,778.0㎡	区画線工 L=1,352.4m	○鏡野町の人口(4/1現在) 平成26年度 13,856人 平成27年度 13,744人 平成28年度 13,538人	○岡山県立森林公園の利用者数 平成26年度 43,555人 平成27年度 44,861人 平成28年度 44,810人
L661.0m W=6.4~9.0m	路面切削工 A=4,778.0㎡	アスファルト舗装工 A=4,778.0㎡	区画線工 L=1,352.4m	○鏡野町の人口(4/1現在) 平成26年度 13,856人 平成27年度 13,744人 平成28年度 13,538人	○岡山県立森林公園の利用者数 平成26年度 43,555人 平成27年度 44,861人 平成28年度 44,810人					
総事業費	27,108,000	交付金充当額	20,000,000							
		うち文部科学省分	20,000,000							
		うち経済産業省分								
交付金事業の成果目標	<p>本事業による通行車両等の安全確保対策により、交通事故の発生を未然に防止することができ、電源立地地域である当町の町道通行の安全性を確保することができます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>									
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、舗装修繕工事を行ないます。定量的な成果指数として、通行車両等の安全確保対策により、交通事故の発生を未然に防止すること(交通事故ゼロ件)を設定します。</p>									
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、通行車両等の安全確保対策により、交通事故の発生を未然に防止することができました。</p> <p>なお、定量的な指標として町道人形峠線の安全性の確保により、交通事故の発生がゼロ件となり、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>									
交付金事業の契約の概要										
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額						
	町道人形峠線改良工事	指名競争入札	和光建設工業 株式会社	27,108,000						
		計		27,108,000						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無							

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称									
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	恩原高原スキー場圧雪車整備事業									
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町									
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原2037									
交付金事業の概要	<p>更新予定の圧雪車は、平成5年度に配備され20年以上が経過しているため作業能力が著しく低下しています。また、故障することも多く、故障時においては旧式であるため部品供給が困難となりゲレンデ整備作業に長時間を要し、営業開始時間に間に合わないなど不都合が生じています。冬季の夜間・早朝の急斜面の作業となり、作業員の安全性が確保されていないこともあり設備の更新を行ないます。</p> <p>【スキー場ゲレンデ圧雪車の購入】</p> <table border="0"> <tr> <td>○フロント排雪ブレード</td> <td>○恩原高原スキー場の利用者数</td> </tr> <tr> <td>○スノーバケット</td> <td>平成26年度 62,740人</td> </tr> <tr> <td>○リア圧雪機</td> <td>平成27年度 35,600人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成28年度 52,050人</td> </tr> </table>			○フロント排雪ブレード	○恩原高原スキー場の利用者数	○スノーバケット	平成26年度 62,740人	○リア圧雪機	平成27年度 35,600人		平成28年度 52,050人
○フロント排雪ブレード	○恩原高原スキー場の利用者数										
○スノーバケット	平成26年度 62,740人										
○リア圧雪機	平成27年度 35,600人										
	平成28年度 52,050人										
総事業費	39,420,000	交付金充当額	37,000,000								
		うち文部科学省分	37,000,000								
		うち経済産業省分									
交付金事業の成果目標	<p>本事業による圧雪車を整備することにより、観光面はもとより町民及び多くの利用者のスポーツ・レクリエーション施設として広く利用に供することができ、電源立地地域である当町の利用客の安全性及び利便性を確保することができます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>										
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、圧雪車の整備を行ないます。定量的な成果指数として、利用客の安全性及び利便性を確保することにより、利用客の増加を設定します。</p>										
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、町民及び多くの利用者のスポーツ・レクリエーション施設として広く利用に供することができました。</p> <p>なお、定量的な指標として利用客の安全性及び利便性を確保したことにより、利用客が増加し、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>										
交付金事業の契約の概要											
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方								
	恩原高原スキー場圧雪車整備	指名競争入札	スノーシステムズ 株式会社								
			39,420,000								
		計	39,420,000								
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無								

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称													
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業													
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町													
交付金事業実施場所		鏡野町井坂220-1(除雪車庫) 上齋原1182-19(上齋原除雪基地)													
交付金事業の概要	<p>鏡野町は、岡山県の最北端に位置し県下でも有数の豪雪地帯です。除雪業務は、鏡野町道路除雪計画に基づき「鏡野」・「奥津」・「上齋原」・「富」の4地区に除雪機械41台を配備し、町内の国・県・町道を主に業務委託により、総延長319kmの除雪作業を行い、冬期間の道路網の安全確保に努めています。</p> <p>既設小型ロータリー除雪車は購入後18年が経過し、走行距離が1,900kmを超えており、また既設除雪トラックは購入後24年が経過し、作業時間が1,400時間を超え走行距離も4,900kmであり、車両全体の老朽化が著しい状態にあります。そのため、出力低下による作業の遅れが著しく、作業の遅延につながっており、地元住民からの苦情と早期の除雪完了について強く要望を受けています。そのため、小型ロータリー除雪車(1.0m級)1台と除雪トラック(7t級)を1台を新たに更新整備します。</p> <p>【除雪機械整備事業】</p> <p>除雪車整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型ロータリー除雪車1.0m級 1台の購入 ・除雪トラック7t級 1台の購入 <p>○小型ロータリー除雪車の出勤回数 ○除雪トラックの出勤回数</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成26年度(既設車)</td> <td>14回</td> <td>平成26年度(既設車)</td> <td>2回(故障が多く出勤できなかった)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度(//)</td> <td>16回</td> <td>平成27年度(//)</td> <td>2回(//)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度(更新車)</td> <td>10回</td> <td>平成28年度(更新車)</td> <td>30回</td> </tr> </table>			平成26年度(既設車)	14回	平成26年度(既設車)	2回(故障が多く出勤できなかった)	平成27年度(//)	16回	平成27年度(//)	2回(//)	平成28年度(更新車)	10回	平成28年度(更新車)	30回
平成26年度(既設車)	14回	平成26年度(既設車)	2回(故障が多く出勤できなかった)												
平成27年度(//)	16回	平成27年度(//)	2回(//)												
平成28年度(更新車)	10回	平成28年度(更新車)	30回												
総事業費	36,050,400	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	34,000,000 ----- 34,000,000												
交付金事業の成果目標	<p>新規小型ロータリー除雪車(1.0m級)及び除雪トラック(7t級)を配備することにより、出力低下による除雪作業の遅れもなくなり、降雪時における雪害の防止と生活道路(通勤・通学に利用)でもある道路網の機能を保つことで、電源立地地域である当町の地域住民の通行の安全性を確保することができます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>														
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、小型ロータリー除雪車(1.0m級)1台及び除雪トラック(7t級)1台を整備します。定量的な成果指数として、降雪量にもよりますが、除雪車整備地区(奥津地区・上齋原地区)の除雪作業の遅延による地元住民からの苦情がゼロ件となるように設定します。</p>														

<p>交付金事業の成果及び評価</p>	<p>本事業を実施し、出力低下による除雪作業の遅れもなくなり、降雪時における雪害の防止と生活道路(通勤・通学に利用)でもある道路網の機能を保つことにより、通行の安全性を確保することができました。 なお、定量的な指標として除雪車整備地区(奥津地区・上齋原地区)の除雪作業の遅延による地元住民からの苦情も無く、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>			
<p>交付金事業の契約の概要</p>				
	<p>契約の目的</p>	<p>契約の方法等</p>	<p>契約の相手方</p>	<p>契約金額</p>
<p>除雪車購入</p>	<p>指名競争入札</p>	<p>津山重機工業 株式会社</p>		<p>7,430,400</p>
<p>除雪車購入</p>	<p>指名競争入札</p>	<p>富士岡山運搬機 株式会社</p>		<p>28,620,000</p>
	<p>計</p>			<p>36,050,400</p>
<p>成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>	<p>無</p>	<p>交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度</p>	<p>無</p>	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称																										
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	かがみの園空調設備改修事業																										
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町																										
交付金事業実施場所		鏡野町古川475-1																										
交付金事業の概要	<p>本施設は、平成4年12月に鏡野町立養護老人ホームかがみの園として旧鏡野町において整備されたものです。整備後23年を経過したことにより、施設は老朽化してきています。とりわけ空調機器の傷みが激しく、毎年修繕を行っている状況にあり、入居者から設備の改修について強く求められています。</p> <p>また、面会室、静養室、厨房、食堂、集会室などはマルチエアコンで対応しておりますが、これらも同様に老朽化に伴う故障が多く、特に食品衛生管理上大きな不安材料となっているため、空調設備の改修を行ないます。</p> <p>【かがみの園空調設備改修】</p> <table border="0"> <tr> <td>建築改修工事</td> <td>解体工事</td> <td>平成26年度</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>・内装工事</td> <td>電気設備工事</td> <td>平成27年度</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>・機械基礎工事</td> <td>・配線工事</td> <td>平成28年度</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>機械設備工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・冷却塔一体型冷温水機</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既存マルチエアコン更新</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○かがみの園の入居者数(定数50人)</p>				建築改修工事	解体工事	平成26年度	44人	・内装工事	電気設備工事	平成27年度	37人	・機械基礎工事	・配線工事	平成28年度	40人	機械設備工事				・冷却塔一体型冷温水機				・既存マルチエアコン更新			
建築改修工事	解体工事	平成26年度	44人																									
・内装工事	電気設備工事	平成27年度	37人																									
・機械基礎工事	・配線工事	平成28年度	40人																									
機械設備工事																												
・冷却塔一体型冷温水機																												
・既存マルチエアコン更新																												
総事業費	28,890,000	交付金充当額	28,000,000																									
		うち文部科学省分	28,000,000																									
		うち経済産業省分																										
交付金事業の成果目標	<p>本事業を実施することにより、入居者(平均年齢が84.4歳と高齢化しており、体温調整ができない者も多く、体調を崩すことが多い)への文化的で健康な生活のサービス提供を行なうことができます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>																											
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、空調設備改修工事を行ないます。定量的な成果指数として、文化的で健康な生活のサービス提供を確保することにより、施設入居者数の増加を設定します。</p>																											
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、入居者(平均年齢が84.4歳と高齢化しており、体温調整ができない者も多く、体調を崩すことが多い)への文化的で健康な生活のサービス提供を行なうことができました。</p> <p>なお、定量的な指標として入居者の文化的で健康な生活のサービス提供を確保したことにより、施設入居者数が増加し、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>																											
交付金事業の契約の概要																												
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額																								
	かがみの園空調設備改修工事	指名競争入札	株式会社 日並建設	28,890,000																								
		計		28,890,000																								
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無																									

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称													
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	総合グラウンド整備事業													
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町													
交付金事業実施場所		鏡野町入108													
交付金事業の概要	<p>本施設は、昭和59年6月の新設以来、主に野球を通じたスポーツ振興、高齢者層の健康づくりに大きく寄与してきました。施設新設後30年を経過したことに伴う経年劣化により、グラウンドの不同沈下、機械設備の故障やブルペン施設がないことなどに関して、町民をはじめとする利用者から施設整備について要望が寄せられています。</p> <p>【総合グラウンド整備】(建築)</p> <p>管理棟改修工事 ・屋根改修、スタンド観覧席改修 ・外壁・内壁改修 ・鋼製建具、木製建具改修 ・電気設備、機械設備工事 バックスクリーン新設 スコアボード新設 トラクター倉庫新設 構内入口門扉改修 ・アコーディオン門扉改修</p> <p>○総合グラウンドの利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度合計</th> <th>整備工事期間外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3,701人</td> <td>1,219人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2,902人</td> <td>1,021人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,455人</td> <td>1,455人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【総合グラウンド整備】(土木)</p> <p>グラウンド用土置場新設工事 野球場フェンス改修 ・フェンス改修、塗装工事 ・防球ネット工事 サブグラウンド工事 野球場整備工事 ・内野整地工・外野整地工 ブルペン整備工事 外周工事 第一駐車場整備工事 場内排水路工事</p> <p>・サブグラウンド工事 ・野球場整備工事 ・ブルペン整備工事 ・場内排水路工事 ・第一駐車場整備工事 ・外周工事 ・解体工事</p>				年度合計	整備工事期間外	平成26年度	3,701人	1,219人	平成27年度	2,902人	1,021人	平成28年度	1,455人	1,455人
	年度合計	整備工事期間外													
平成26年度	3,701人	1,219人													
平成27年度	2,902人	1,021人													
平成28年度	1,455人	1,455人													
総事業費	158,760,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	158,000,000 158,000,000												
交付金事業の成果目標	<p>本事業による整備を行うことにより、施設機能の強化が図られ、施設の利用効率向上が見込まれることとなり、スポーツの普及による青少年の健全育成や高齢者の健康づくりへの取組み強化に繋がることとなり、利用者数の増加が見込まれ、住民の福祉や健康増進へ寄与することが期待できます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>														
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、総合グラウンド整備工事を行いません。定量的な成果指数として、スポーツの普及による青少年の健全育成や高齢者の健康づくりへの取組み強化により、利用者数(整備工事期間を除く)の増加を設定します。</p>														

交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、スポーツの普及による青少年の健全育成や高齢者の健康づくりへの取組み強化ができました。</p> <p>なお、定量的な指標として青少年の健全育成や高齢者の健康づくりへの取組みを強化したことにより、利用者数(整備工事期間を除く)が増加し、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>		
交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方
総合グラウンド整備工事(建築)	指名競争入札	株式会社 鏡水	91,368,000
総合グラウンド整備工事(土木)	指名競争入札	株式会社 大和建设	67,392,000
	計		158,760,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称																																		
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化スポーツセンター施設改修事業																																		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町																																		
交付金事業実施場所		鏡野町竹田158																																		
交付金事業の概要	<p>本施設は、鏡野町の中核スポーツ施設として、町民をはじめ多くの人に利用されてきています。平成4年の施設整備後24年が経過しており、経年による施設の老朽化が進んでおり、特にトイレについては、1階女子トイレ2カ所で排水不良を起こすなど使用できなくなることが度々あります。また、文化スポーツセンターは、災害時の指定避難所として指定されていますが、トイレは和式便器が多く高齢者や障害のある人にも利用しやすい洋式便器への取替改修を行う必要があります。</p> <p>【文化スポーツセンター施設改修】</p> <table border="0"> <tr> <td>1階北側トイレ、南側トイレ改修</td> <td>トイレ内部の改修</td> <td colspan="2">○文化スポーツセンターの利用者数</td> </tr> <tr> <td>2階北側トイレ改修</td> <td>・トイレプールの改修</td> <td>年度合計</td> <td>改修工事期間外</td> </tr> <tr> <td>洋式便器への取替工</td> <td>・床タイル、ビニールシート張替</td> <td>平成26年度</td> <td>31,697人 17,450人</td> </tr> <tr> <td>・和式トイレの洋式化</td> <td>・床塗膜防水(2階北側トイレ)</td> <td>平成27年度</td> <td>33,256人 17,473人</td> </tr> <tr> <td>・男性用小便器交換</td> <td>・壁タイル一部張替</td> <td>平成28年度</td> <td>31,975人 18,025人</td> </tr> <tr> <td>・給排水設備改修</td> <td>・天井吸音板張替(1階北側トイレ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械設備改修</td> <td>・手摺新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電気設備工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				1階北側トイレ、南側トイレ改修	トイレ内部の改修	○文化スポーツセンターの利用者数		2階北側トイレ改修	・トイレプールの改修	年度合計	改修工事期間外	洋式便器への取替工	・床タイル、ビニールシート張替	平成26年度	31,697人 17,450人	・和式トイレの洋式化	・床塗膜防水(2階北側トイレ)	平成27年度	33,256人 17,473人	・男性用小便器交換	・壁タイル一部張替	平成28年度	31,975人 18,025人	・給排水設備改修	・天井吸音板張替(1階北側トイレ)			・機械設備改修	・手摺新設			・電気設備工事			
1階北側トイレ、南側トイレ改修	トイレ内部の改修	○文化スポーツセンターの利用者数																																		
2階北側トイレ改修	・トイレプールの改修	年度合計	改修工事期間外																																	
洋式便器への取替工	・床タイル、ビニールシート張替	平成26年度	31,697人 17,450人																																	
・和式トイレの洋式化	・床塗膜防水(2階北側トイレ)	平成27年度	33,256人 17,473人																																	
・男性用小便器交換	・壁タイル一部張替	平成28年度	31,975人 18,025人																																	
・給排水設備改修	・天井吸音板張替(1階北側トイレ)																																			
・機械設備改修	・手摺新設																																			
・電気設備工事																																				
総事業費	19,897,650	交付金充当額	18,000,000																																	
		うち文部科学省分	18,000,000																																	
		うち経済産業省分																																		
交付金事業の成果目標	<p>本事業による改修を行うことにより、施設機能の強化が図られ、利用者の利便性の向上をはかることが可能となり、町内住民はもとより近隣地域の多くの利用者がスポーツを楽しむ環境が整うことにより、利用者数の増加が見込まれ、住民の福祉や健康増進へ寄与することが期待できます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>																																			
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、文化スポーツセンター施設改修工事を行ないます。定量的な成果指数として、利用者の利便性の向上を図り、町内住民はもとより近隣地域の多くの利用者がスポーツを楽しむ環境が整うことにより、利用者数(改修工事期間を除く)の増加を設定します。</p>																																			
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、利用者の利便性の向上を図り、町内住民はもとより近隣地域の多くの利用者がスポーツを楽しむ環境が整えることができました。</p> <p>なお、定量的な指標として利用者の利便性の向上を図り、スポーツを楽しむ環境をが整えたことにより、利用者数(改修工事期間を除く)が増加し、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>																																			
交付金事業の契約の概要																																				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額																																
	文化スポーツセンター施設改修工事	指名競争入札	株式会社 杉岡建設工業	19,897,650																																
		計		19,897,650																																
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無																																	

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称																																																
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	富簡易水道統合事業																																																
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町																																																
交付金事業実施場所		鏡野町富西谷、大、楠地内																																																
交付金事業の概要	<p>本町は、町民の生活や社会活動に欠かせないライフラインとして上水道1、簡易水道6、専用水道1、飲料水供給施設3施設を管理運営しており、水道普及率93.50%(H27.3.31現在)となっています。これらの水道事業について、住民から安全で安定した水の供給、さらには効率的な管理運営を強く求められていることから、水源や浄・配水系統の統合整備を計画的に進めています。</p> <p>本事業の富地区簡易水道についても、施設の老朽化により水質が悪化しており、6か所ある浄水場の水源からは病原性微生物の指標菌である大腸菌が検出されているため、水質・水量が最も安定している富中央浄水場の滅菌設備を更新し、この浄水場1か所から富地域全体へ安全で安定した水を供給することが必要となっています。</p> <p>【富簡易水道統合】</p> <table border="0"> <tr> <td>浄水施設工事</td> <td>配水施設工事</td> <td colspan="3">○富地区水道施設の加入率(3/31現在)</td> </tr> <tr> <td>・取水ポンプ、送水ポンプ更新</td> <td>・入間配水池</td> <td></td> <td>利用者</td> <td>人口</td> <td>加入率</td> </tr> <tr> <td>・紫外線処理装置設置</td> <td>・篠坂高区調整池</td> <td>平成26年度</td> <td>623人</td> <td>678人</td> <td>91.89%</td> </tr> <tr> <td>送水施設工事</td> <td>・大倉調整池</td> <td>平成27年度</td> <td>588人</td> <td>639人</td> <td>92.02%</td> </tr> <tr> <td>・篠坂送水ポンプ場</td> <td>・余川加圧ポンプ場</td> <td>平成28年度</td> <td>573人</td> <td>623人</td> <td>91.97%</td> </tr> <tr> <td>・富高区加圧ポンプ場</td> <td>・篠坂配水池</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械・電気設備工事</td> <td>・大配水池</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・配水管布設、舗装復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			浄水施設工事	配水施設工事	○富地区水道施設の加入率(3/31現在)			・取水ポンプ、送水ポンプ更新	・入間配水池		利用者	人口	加入率	・紫外線処理装置設置	・篠坂高区調整池	平成26年度	623人	678人	91.89%	送水施設工事	・大倉調整池	平成27年度	588人	639人	92.02%	・篠坂送水ポンプ場	・余川加圧ポンプ場	平成28年度	573人	623人	91.97%	・富高区加圧ポンプ場	・篠坂配水池					機械・電気設備工事	・大配水池						・配水管布設、舗装復旧				
浄水施設工事	配水施設工事	○富地区水道施設の加入率(3/31現在)																																																
・取水ポンプ、送水ポンプ更新	・入間配水池		利用者	人口	加入率																																													
・紫外線処理装置設置	・篠坂高区調整池	平成26年度	623人	678人	91.89%																																													
送水施設工事	・大倉調整池	平成27年度	588人	639人	92.02%																																													
・篠坂送水ポンプ場	・余川加圧ポンプ場	平成28年度	573人	623人	91.97%																																													
・富高区加圧ポンプ場	・篠坂配水池																																																	
機械・電気設備工事	・大配水池																																																	
	・配水管布設、舗装復旧																																																	
総事業費	264,183,120	交付金充当額	110,000,000																																															
		うち文部科学省分	110,000,000																																															
		うち経済産業省分																																																
交付金事業の成果目標	<p>富地区水道施設の統合完成により、水量・水質とも安定した富中央浄水場の水源1箇所から富地域全体へ水道水を供給することができ、現在設置している塩素消毒に新たに紫外線処理を加え滅菌するため、安全な水道水を供給することができます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>																																																	
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、富地区簡易水道統合工事を行ないます。定量的な成果指数として、水量・水質とも安定した富中央浄水場の水源1箇所から富地域全体へ水道水を供給し、塩素消毒に新たに紫外線処理を加え滅菌することによる安全な水道水を供給することにより、加入率の増加を設定します。</p>																																																	
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、水量・水質とも安定した富中央浄水場の水源1箇所から富地域全体へ水道水を供給し、塩素消毒に新たに紫外線処理を加え滅菌することによる安全な水道水を供給することができました。</p> <p>なお、定量的な指標として、水量・水質とも安定した水道水を供給し、塩素消毒に紫外線処理を加え滅菌し、安全な水道水を供給することにより、加入率の増加を試みましたが、結果的に加入率は減少になりました。</p> <p>今後は、加入率の増加に努め、電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に努めます。</p>																																																	

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
富簡易水道統合工事	指名競争入札	株式会社 大和建设	29,296,080
富簡易水道統合工事	指名競争入札	中国防災工業 株式会社	34,697,160
富簡易水道統合工事	指名競争入札	株式会社 川本	200,189,880
計			264,183,120
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称																																																																																						
8	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業																																																																																						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町																																																																																						
交付金事業実施場所	(小学校)鏡野町古川50、円宗寺825、下森原405、香々美828、真経730、女原79-2、上齋原1320、富西谷581-1 (中学校)鏡野町竹田610 (幼稚園)鏡野町薪森原721-1 (共同調理場)鏡野町竹田610																																																																																							
交付金事業の概要	<p>小学校職員(校務員1名)及び臨時職員(講師11名・校務員7名・事務員1名)、中学校臨時職員(講師7名・支援員1名・事務員兼校務員1名)、幼稚園職員(園長2名・教諭1名)及び臨時職員(講師6名)、共同調理場職員(場長1名)及び臨時職員(栄養士1名・調理員11名)の人件費12ヶ月分。</p> <p>平成28年4月に旧町村単位に設置していた町立中学校4校を1校に統合しましたが、町内に点在する公共施設を維持運営していくためには依然として多額の経費が必要であり、本交付金を充当し施設を継続して運営することは、住民福祉の向上のため大変重要なこととあります。</p> <p>また、臨時講師は専門的な教科の講師であり、学校基本法による教員の定数に上乗せしての臨時講師のため、より生徒に充実した授業を行なうことができます。</p> <p>○小学校の児童数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>南小</th> <th>大野小</th> <th>鶴喜小</th> <th>香々美小</th> <th>香北小</th> <th>奥津小</th> <th>上齋原小</th> <th>富小</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>268</td> <td>131</td> <td>100</td> <td>45</td> <td>18</td> <td>58</td> <td>28</td> <td>23</td> <td>671</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>256</td> <td>140</td> <td>103</td> <td>40</td> <td>16</td> <td>58</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>652</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>268</td> <td>145</td> <td>106</td> <td>37</td> <td>15</td> <td>62</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>669</td> </tr> </tbody> </table> <p>○中学校の生徒数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>鏡野中</th> <th>奥津中</th> <th>上齋原中</th> <th>富中</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>269</td> <td>27</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>328</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>286</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>331</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>311</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>311</td> </tr> </tbody> </table> <p>○幼稚園の園児数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>郷幼稚園</th> <th>上齋原幼稚園</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>40</td> <td>5</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>33</td> <td>4</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>34</td> <td>2</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校給食利用者数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1,004</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>987</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>982</td> </tr> </tbody> </table>			南小	大野小	鶴喜小	香々美小	香北小	奥津小	上齋原小	富小	合計	平成26年度	268	131	100	45	18	58	28	23	671	平成27年度	256	140	103	40	16	58	19	20	652	平成28年度	268	145	106	37	15	62	17	19	669		鏡野中	奥津中	上齋原中	富中	合計	平成26年度	269	27	14	18	328	平成27年度	286	16	11	18	331	平成28年度	311	—	—	—	311		郷幼稚園	上齋原幼稚園	合計	平成26年度	40	5	45	平成27年度	33	4	37	平成28年度	34	2	36	平成26年度	1,004	平成27年度	987	平成28年度	982
	南小	大野小	鶴喜小	香々美小	香北小	奥津小	上齋原小	富小	合計																																																																															
平成26年度	268	131	100	45	18	58	28	23	671																																																																															
平成27年度	256	140	103	40	16	58	19	20	652																																																																															
平成28年度	268	145	106	37	15	62	17	19	669																																																																															
	鏡野中	奥津中	上齋原中	富中	合計																																																																																			
平成26年度	269	27	14	18	328																																																																																			
平成27年度	286	16	11	18	331																																																																																			
平成28年度	311	—	—	—	311																																																																																			
	郷幼稚園	上齋原幼稚園	合計																																																																																					
平成26年度	40	5	45																																																																																					
平成27年度	33	4	37																																																																																					
平成28年度	34	2	36																																																																																					
平成26年度	1,004																																																																																							
平成27年度	987																																																																																							
平成28年度	982																																																																																							
総事業費	119,825,493	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分																																																																																						
		100,000,000																																																																																						
		100,000,000																																																																																						

交付金事業の成果目標	町立の小学校、中学校、幼稚園及び学校給食共同調理場の固定的に必要な維持運営費への交付金充当により、子どもたちが良好な環境で義務教育を受け、充実した給食サービス提供が可能となり、電源立地地域である当町の地域振興に寄与することが期待できます。さらに、当事業によるの公共施設の適正な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。
交付金事業の成果指標	上記、成果目標を達成するために、小中学校については全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対する「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の割合を7割以上、幼稚園については保護者満足度アンケート調査を実施し、満足度割合7割以上の施設利用満足度を設定します。また、共同調理場については給食を食している児童へのアンケート調査の「給食は全部食べますか」「給食を残す理由」の回答結果でサービス提供の利用満足度を算出することにより、地域社会のさらなる発展と住民福祉の向上が期待できます。
交付金事業の成果及び評価	小中学校については平成28年度全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対する「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の割合は、小学校では89.5%、中学校では77.7%でした。幼稚園については保護者満足度アンケート調査の満足度割合は86.4%でした。また、給食を食している児童へのアンケート調査結果によると、「給食は全部食べますか」の質問では、13.9%の児童が「いつも残す」と答えており、「給食を残す理由」では「量が多い」と答えた児童が31.9%でした。この結果に対し、栄養価等を考慮しつつ、ニーズをふまえたメニューの考案により、より利用者満足度の高いサービスの提供が可能となり、地域社会のさらなる発展と住民福祉の向上が期待できます。 さらに、当事業による施設の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。

契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
小学校正職員・臨時職員	採用・雇用	—	44,859,372
中学校臨時職員	雇用	—	19,744,500
幼稚園正職員・臨時職員	採用・雇用	—	26,445,179
共同調理場正職員・臨時職員	採用・雇用	—	28,776,442
計			119,825,493

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無無 | 交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 | H33

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載